夕刊 常磐毎日

発行所 平市田町75 常磐毎日新聞社 電話1210番 編集兼印刷発行人 吉田甫

磐崎 湯本 議會で合併可決 新發足の溫泉街"常磐市"

"常磐市"建設の湯本、磐崎両町村合併の最終決定をみる両町村議会は、十日それぞれ開催され磐崎村議会は別項の如く「合併反対の陳情動議」など飛び出し反対部落民が議場をとり巻き不隠な空気をかもし出したりして大もみにもんだが、結局十四対十で合併と決定、湯本町もこの決議に基いて午後三時から町議会を開催、二十三対一で磐崎村の編入合併を可決、十四日までに新市計画書を県に提出、三十一日付で"常磐市"として発足、小名浜ブロツクの"磐城市"と並んで炭砿と浜に二ツの市が誕生することになつた、初代市長には矢吹現湯本町長が就任、市議は両町村議員がそのまゝ滑り込み、一年後に改選を行うことになつた。

もめた磐崎村會 十四対十で編入合併決定

湯本町と磐崎村との合併議会は十日午前十時から両町村で行われたが、磐崎村では、合併反対の上、下湯長谷、西郷、岩ケ岡、馬玉、白鳥の六部落七百三十四世帯（一千二百五十二名）が反対の気勢をあげ、「湯本の犠牲になるな」など大書したムシロ旗を押立てて大鼓を鳴らしながら村内をねり歩いて議会に押しかけ、

合併反対運動本部委員長大平義平氏(四七)らが集めた一千二百五十二名の署名書を村会に提出、傍聴席は超満員、場外も旗を掲げた農民らがとりまき物々しい空気のうちに村会を開催、合併反対派の野木貫一(五〇)議員が村会の名誉に関する問題があるとして、賛成派の吉田侻(四七)議員を追及する動議を出し、

「吉田議員は、湯本町と合併すれば村議に二十万円もらえると言う話が拡がつている、非常に村民の反感をかつているから吉田議員からその真相を答弁して頂きたい」と非難、吉田議員は、「この話は常磐炭砿磐崎支部の組合内部で聞き、本当ならいいなあと、冗談に言つたのが、曲解されて伝わつたのだ」と弁明したが、

同村議は先に「合併問題に関するチラシ配布問題」で去る一日の村会でも懲罰委員会にかけられ、戒告処分を受けており、度重なる不謹慎だとして合併派からも非難されるなど議場はソウ然となり、伊達一夫議員（常磐労組支部副組合長）西山一男議員（同磐崎支部長）佐藤勇議員（同生活部長）の三氏から再び懲罰動議が出され、後刻この処分を決めることで議事を進行、更に反対陳情書をめぐつて討議、総務委員会に付託となり検討した結果、この署名は本人のものでないものが多い上に、反対理由となる根拠がないとして採上げないことに決定、直ちに合併の採決に入つた。無記名投票の結果賛成十四反対十、無効一で午後二時五十分卅一日を目標に編入合併を決議した。

湯本町会も 受入れを可決

一方湯本町議会は十日磐崎村議会の決定をまつて午後三時からひらき、磐崎村の編入合併の受入れ態勢と、新市計画案について審議の結果二十三対一で磐崎村の編入合併を可決、一両日中に両町村の合併手続きを終え、新市計画書を県に提出することになり、三十一日を期して炭砿と温泉の街"常磐市"が新発足されることになつた。

赤井で村民對立 村林還元処置でくすぶる

赤井村塩田地内の村有林還元処置をめぐり部落民が対立、同字小林義郎氏ら十八名は多数暴力による差別待遇には承服出来ないと地裁平支部に協定を申立て成行きが注目されている。

問題の塩田山林は大正十二年六十一名の部落民が統一して管理に当り、その後十二年目に七名が四十円の加入金を出して仲間入りし、更に十八年目に十一名が百円ー百五十円の加入金を出して加入し、現在まで計七十九名で平等に管理して来た、ところが昨年十二月の村議会に於ける村有林還元決議以後は後から加入した十八名の権利を無視して最初から加入している六十一名で総会をひらき、学校林、採草地など二十町歩を残した百町歩を自分達だけで分割測量を始め、一人当り一町五反歩宛近く各人に引渡すことになつていると言うもの。

これに対して小林氏らは理由のない差別待遇であり、多数による暴力行為であるとし小林委員や村当局に再三交渉したが受入れられず遂に地裁に協定を申立てることになつたもの。

山林委員の言分

これに対し鈴木文夫氏ら山林委員側では、「村議会の還元決議は大正十二年にさかのぼつて当時の縁故者に山林を引渡したのであり、その後に入会したものには関係なく処分出来るものだ」と言う意向を示していると言われる。

内郷公民館 各館行事決る

内郷町公民館では各部落館行事を次の日程場所で行う。
▽十五日桜井婦人学級終了式、桜井クラブで終了生九十六名。▽二十日（午後六時）下綴部落館で講演会、講師は同館主事赤士興栄氏でレクリエーションについて。▽二十二日白水第二部落館、二十三日滝、町田部落館、二十四日高坂第一部落館で毎日午後六時からナトコ映写会、フイルムはアメリカの首都、アメリカ自然科学博物館、森林問題アドービの村、エセックスの船大工。▽二十八日（午後六時）下綴部落館で講演会、講師は赤士興栄氏で部落館運営の諸問題について。

セメント労組 組合大会

磐城セメント四倉工場労組では十一、十二の両日午前九時から四倉中学校に約八十名の労働者が集り労組大会を開く。

予算二億五千万 十九日から予算市會開く

予算市会は十九日から開会されることに決定、提出される二十九年度予算は十日からの助役査定で最後の仕上げをかけることになつているが、当初予算の概算は二億四千七百九十八万六千九百六十一円（更に増加の見込）で昨年度の当初予算を五千余万円上廻つている。
予算の主なる行先は▽人件費の五千七百余万円▽生活扶助など福祉関係費の三千四百六十三万八千九十円▽第一中建築継続費三千百万円▽二小校増築三百万円、▽第三中校庭拡張費百五十万円▽庶民住宅五十戸建設費一千三百五十八万五千円、▽困窮者住宅八戸三十二万円などがある。

湯本専門店会 交通量調査

湯本町専門店会では、このほど町内一番の繁華通り上町踏切りから温泉神社下までの交通量調査を三日間にわたつて行つた結果、歩行者は一時間平均五百廿九名自転車、リヤカー三百五十一台自動車、オートバイ八十台というすさまじい賑かさを呈し、情緒豊かな温泉街をうなづかさせている。

朝夕が多い

同会の三日間にわたる調べをみると、▽一般歩行者（学生を除く）は朝（九時から十時）千五百三十二名、昼（一時から二時）千八十二名、夜（五時から六時）二千百四十五名、▽自転車リヤカーは朝千四十八台、昼七百八十五台、夜千三百二十七台、▽自動車及びオートバイは朝二百六十七台、昼二百十三台、夜二百三十七台という数字が示され、やはり朝と夜の交通量が多く湯の街の繁雑さを物語つている。

石城酒の品評會 十三日市公会堂で表彰式

石城酒品評会は十二日午前九時から市内鍛冶町の石城酒造KK事務所で約二百余点を集めて行われる入賞酒と優良並びに永年勤続者の表彰は十三日午後一時から市公会堂で挙行される。

民間協力者表彰

平市材木町市吏員小斎栄治さん(三八)同鈴木敬司さん(三五)同町染物業ア部伝六さん(三〇)の三名は九日平市署から表彰された。
去る二月十五日午後十時半ころ同町内を自警のため巡邏中、自転車泥の錦町生れ住居不定無職前科二犯菅野一治(三九)を発見、市署に連絡すると共に、かけつけた署員と共に犯人逮捕に協力したもの。

内郷消防行事

内郷町消防団では七日から十三日までの一週間実施される全国火災予防運動週間に呼応して次の諸行事を行う。
各分団毎に自動車ポンプでの町内巡視、管内戸毎の火元検査及び検査済票の配布、機械器具の手入及ポンプ操法の基本訓練、立看板横断幕の掲示、その他官公署学校会社工場などの自主的な火災防訓練の実施となつている。

日鑛との合同に 常磐労組常委で合併決議

日鉱との裸合同をめぐつて分裂寸前の状態にあつた常磐労組では三十、三十一の両日ひらかれる常炭連第四回定期大会までに態度を決めるため九日午前十時から同労組本部会議室で常任執行委員会をひらき審議したけつ果。
うまくまとまり全員一致で裸合同を決議、二十九日の常磐労組臨時大会に提出組合員の賛成を求めることになつた、裸合同は常炭連傘下中小炭砿労組のいずれも決議していたが、常磐の態度がらやむやで、日鉱のいかりをかい白紙に返えされていたもので、常磐労組常任委員会がまとまつたので、二十九日の同労組大会でも裸合同に全員が賛成することはまちがいないと見られ、波乱を呼んだ同問題もようやく終止符を打つものと見られる。

四倉町議会

四倉町では十二日午前九時から役場に於いて、定例町議会をひらき歳計現金先決定、固定資産減免、四倉町手数料改正、四倉町基本財産管理条例改正の件などについて協議。終つて水揚市場設立要望署名陳情について審議する。

福祉協議会に 表彰金寄贈

夜警中に前科二犯の自転車ドロを捕え民間功労者として平市署から表彰された市内材木町ア部伝六(三〇)同小斎栄祐(三八)同鈴木啓司(三五)の三氏は、十一日午前九時市福祉事務所を訪れて「困つている人達のために使つて下さい」と一千円の表彰金を全部社会福祉協議会に寄附した。

湯本二小校 保護者懇談会

湯本二小の新入学児童四百名の保護者懇談会は、十五、六の両日午前九時から学区毎にひらいて入学児童の心得、教育指導について懇談する。

福島丸完成祝賀

県立小名浜水産高校練習船福島丸（二二〇トン）の完成祝賀式は廿九日小名浜港三千トン岸壁で挙行される。

四倉水産業者ら "水揚市場"設立を陳情

漁業不振の四倉町では水産加工業者らが町営水揚市場設立期成同盟会を組織、水揚市場設立賛成の署名運動を起し、八日町民、加工業者ら約九百五十名の署名した要望書を町当局に提出した。
町当局では十二日午後二時から緊急町会をひらき、この問題について協議する。

保育協議会

石城保育協議会は十三日午后二時から内郷町立綴保育所で音楽リズム委員会を開き、二十八年度の行事反省、二十九年度の行事及び運営方針などについて審議する。

川前の古木 天然記念物指定

川前村上桶売字沢尻地内の樹齢約一千年と言われる"大いの木"が、この程県重要文化財審査委員八代義定氏（元鹿島村長）の調査で、根廻り三十二尺、直径十一尺、高さ百十尺の日本一大きいものと判り、近く天然記念物に指定されることになつた。

映畵はひかり座

出生死亡 十日届出

出生＝平市久保町二八菅山武雄三女清子、平市北目町一三二三橋正一二女春恵、平市立町九六稲垣殖臣四男寿則

死亡＝平市正月町七藁谷スエ(七三)

天気予報

明日＝北よりの風初め雨か雪のち曇りの天気。

海上＝シケもようですから漁船は注意。

家具と漆器の あるが
銀座通り 電二二三

通学用学童服とランドセルは大黒屋
これが本当の半額・大黒屋だけが出來る奉仕
大日本紡績製品ビニロン70%
ミユロン裏毛シヤツ
綿30%耐久力3倍から5倍
大人殿方婦人用450の品 220円均一
子供用300円の品 150円各種
お知らせ ズボン下のみ 全店 特別奉仕を致しております
大黒屋 平本店 平支店 大丸店 磯坂 金本 小名浜
大日紡のオリオン毛糸ポンド2000円特別値段発表

洋裁生徒募集
◆文化式裁断
◎本科…一ケ年 ◎研究科…一ケ年 ◎編物科…三ケ月
◎入学日四月五日 ◎願書受付中
◆特色紳士服教授
公認 林高等服装女學院
院長 林カネ子
平市七丁目 電一九五四番

中華料理
出前迅速
焼売（シユウマイ）
不二屋
電一八八六 一七五〇番

新春の装いは
★紳士服地★
★婦人服地★
新柄各種取揃えました 御注文仕立は迅速にいたします
(専)の店
服地専門店 マルエ
銀座 TEL 265

自家製造元 御婚礼用家具一式特売中
家具の専門店 伊東家具店
平指定商チケツト御利用下さい
◆営業所 平市新川町
◆工場 平市大町
電四六四番
◆名人会御招待売出し中

◎春のニユールツクは……
◎三幸デパートの……
◎注文洋服部より……
◆優れた技術と高級生地販売
◆仏国製英国製国産優秀品
註文紳士服と婦人服 常磐炭砿販売課指定 平信販チケツト加盟
三幸デパート 電話一三二七、五〇六
紳士服裁断責任 渡辺良平
婦人服裁断裁縫 榛沢照子

これぞ母親の亀鑑 子を背負つて六年間登校

市教委から表彰 愛情の子は整肢療園へ

肢体の不自由な子供を六年間も背負つて登校、学校内の仕事も教室から便所の掃除まで子供に代つてやり通していた美しい母と子の行為が話題を集めていたが、卒業式を機に「気高い母の亀鑑」として市教委から表彰されることになつた。

話題の主は市立第三小学校六年生大塚トシ子さん(一三)のお母さん大塚モトさん(五三)＝市内新川町＝で大塚さんは十年ほど前夫に死別されてからは、肢の不自由な幼児を抱えて世の荒波と斗い続けて来たものだが、

トシ子ちゃんが入学するようになつてからは一日も欠かさず背負つて登校、トシ子ちゃんの身の廻りを世話する傍ら、校内の掃除も進んで行つていたと言うもので、

モトさんの行為を見た人々は母親とは言いあれだけの努力を続け得る人は少い、と口を揃えて感激している。

トシ子ちゃんはこの美しい母親の愛情に護られ来る廿日晴れの卒業を迎えるが、中学校えの登校には距離的条件等に堪えかねると言うことから、先生方の推めで平窪の福島整肢療護園に入園する準備を進めている。

担任教師談

たん任教師の平三小浦山トシ江先生は「四年生のとき大河内医師の手術を受けその後大分自分の力で出来ることが多くなつたようです。が、一年生から六年の卒業までほとんど背負つて登校、身の廻りから校内の掃除まで世話をして下さつた母親の行為には常に泣かされて居りました。母の愛の尊さがこれほど身にしみて感じたことはありません」と語り。

市教委員会談

「母の手一つで生活と斗つて行くことでさいせい一ぱいの世に六年間も子供を背つて登校し続けた母親の愛は言語の外である母なればこそ出来た尊い行為であろう、母親の亀鑑として表彰その諄行を賛えたい」と語つていた。

常磐中堅習技生 廿九日第一回卒業式挙行

常磐炭砿中堅工員習技生の第一回卒業式は二十九日午前八時半から湯本鉱山神社境内で挙行される。

この晴れの卒業式には特に大越社長はじめ林田所長ら幹部が出席して激励することになつているろ、第一回の卒業生は本科生百四名、専科生百三十六名でいづれも卒業記念に金色バツジが贈呈される。

乗物防火週間

乗物防火週間は十四日から一週間全国一斉に行われるが、平市消防署では週間中に市内各所で車内厳禁物所持車の取締を行う、またバスも乗客に迷惑のかゝらないよう乗物で取締る。

養老園拡張

平市養老園は現在五十名の身寄りのない老人達を収容しているが、設備がよく家屋が明るい点などで最近入院申込みが殺倒現在の設備では収容し切れないので。

明年度拡張、定員を七十名に増加して、浜三郡の人達を収容出来るようにしたいと計画を進めている。

温泉と炭礦の街 新発足する〃常磐市〃の表情

〃常磐市〃として卅一日から発足する湯本町は、炭砿と温泉の街で、磐崎村もまた常磐炭砿に依存して来た面が非常に大きい人口は磐崎村の一万二千を加えて四万二千二百に膨張する。この町は浜通りでも有数の財政にめぐまれた町で、年間予算一億一千万円の膨大予算、この内訳は町民税四千七百万円、固定資産税千六百九十万円などで、人口の半数の一万五千名が常磐炭砿関係者である。温泉旅館二十五軒、芸妓置屋十三軒、芸妓百廿名で街の中心の繁華街を占めて温泉観光街を形成している。大工場事業所は、常磐炭砿磐城鉱業所を筆頭に、品川白煉瓦工場などあり、地区警察、郵便局、電報電話局など官公庁出先機関が十一、銀行支店が四、株式会社四十余がある、映画館三ツ、タクシー会社が三社、高校は一、中学二、小学二、幼稚園三のほか東北一を誇る公民館磐崎村には村有林が多く、炭砿の鉱山税は七百三十万円、東北電力平変電所もここにある。

新市計画の内容の主なるものは

▽市役所は湯本、支所は磐崎に置き、長倉に事務連絡所を当分置く。

▽町村立学校を市立と改め校名は所在地名とする

▽廿九年度主なる事業は、藤原小校新築、長倉小校講堂新築、磐崎小校講堂改築、湯本三小新築

▽卅年度事業は、湯本三小継続建築、湯本二小講堂新築、湯本二中増築

▽学区は従前通り

▽新に上湯長谷、藤原、下湯長谷、下船尾に公民館分館設置

▽小野田地区に幼稚園設置

▽消防は両町村に単位団を置き湯本に本部を設ける

▽市立病院、診療所の新設

▽市営青果市場の設置

▽湯川、藤原川、馬利川の改修

▽公衆電話を田場坂、才の内、西郷、馬玉、下船尾に架設

湯本町旅の会 機関紙発刊

湯本町旅の会〃途上〃では十三日午后六時半から公民館でナトコ映画会を開くほか十二日機関紙梅花号を発刊する。

なお公民館の環境美化を図るため、南側に花壇五坪を作り草花の種をまくことになつた。

湯本商協組 専門部会開催

湯本町商業協同組合では二十日午後一時から公民館で専門部会を開き、各専門部の事業方針について協議する。

常炭連組合募金 福祉に寄贈

常炭連では冷害農家救出運動を起し組合員から募金を行つていたが、このほど五千二百六十円が集まつたので福田正治給与部長が石城福祉事務所をおとずれ「冷害のため困つている農家に上げて下さい」と贈つた。

法大弁論部主催 立会演説会

法政大学弁論部主催の七大政党立会演説会及学術講演会は四月四日午後一時から湯本公民館ホールで行われる。

四倉港で漁船転覆 乗組員一名は行方不明

金華山沖漁場から帰つてきた四倉町新町長谷川信次郎さん所有底曳船第二北洋丸＝二〇・八トン＝が四倉港に入港するさえ風波にあおられて磯に座礁して転覆、乗組員十二名中十一名は救助されたが、岩手県下円郡山田村出身甲板員工藤茂男さん(二二)が行方不明となり目下捜索中だが、絶望視されている。

激浪にあおられ 瞬く間に座礁転覆大破

十一日午前六時二十分ころ四倉町新町四三長谷川信次郎さん(六二)所有の底曳船第二北洋丸＝船長長谷川文太郎(四三)ほか乗組員十一名＝が金華山沖漁場から帰り四倉港に入港するさえ、

風波が高い普通進路を右廻したため波にあおられて磯に座礁すると同時に右に片向き、再度大波をうけて転覆、乗組員は海中に飛び込み転覆した船底に泳ぎついて救いを求め、築港附近の人々がこの災難を発見して騒ぎ出し、消防団員、水難救所員、町民など約百二十名がかけつけ天馬船数隻で救助に向い乗組員を救助したが、船中に二人いるといわれ船大工数名が転覆船に乗り移つて船底を破り、機関長長谷川四郎(五八)、機関士依田茂男(三四)の両名を救い出すこと出来たが、甲板員の工藤茂男(二二)は転覆する直前海中に飛びこんだため沖の方へ流されたものとみられ行方不明、救助船は目下引続き捜索中。なお救助に向つた四倉町志津漁夫田中広さん(三六)は救助のさえ二週間の左腕打撲傷を負つた。

船底から救助の 機関長語る

転覆後約二時間も船底にいた長谷川機関長、依田機関士の両名は「機械の煙と油にせめられて息苦しく助かることは出来ないと覚悟をきめていたら「オーオー」と呼ぶ声が聞えたので、返事をしたが全く聞えず気違いのように船底を板で叩いたら、スクリユウの叩く音が聞えたので全員無事であることを悟つた、そのうちにだんだん水が浸入してきたため、やつとの思いで船尾の船員部屋に入り、じつと我慢していると頭の方で材木の切るような音が聞え、助かると嬉しくなり、苦しさも寒さも忘れたゞ生きられる助かるということで胸が一ぱいでした」と涙ながらに語つていた。

磐炭労 今朝スト突入

新賃金を要求する炭労傘下の磐炭労＝傘組合八組合二千三百名＝は予定通り十一日午前六時一番方から二十四時間第三ストに突入したさらに十三日は第四波四十八時間ストに入るが、十一日午前十時から磐炭労本部で拡大闘争委員会をひらき、第五波以下の闘争方針第四波の闘争強化などについて打合せている。

カリキユラム編集委員會 青年教育解説書など協議

郡公連主催の青年学級カリキユラム編集委員会は、十日午前十時から平市公民館で行われ、青年学級のための解説書作成について協議した結果、十五日までに完成することになつた。

これは学習課程編成の指針とするものでねらいは青年をして近代生活を中心とした政治経済文化の課題解決に向つて邁進する一助にするもので、学校教育の延長ではなく勤労青年の日常生活によく調和し、興味と関心をもつて迎えられるように学習計画を樹てるもの。

炭礦と町の 主婦連絡協議会

常磐主婦の会、湯本町婦人会の連絡協議会は十日午前十時から公民館に両会の役員約四十余名集つて開き、共同便所の増設、水呑場の増設（結婚簡素化、公民館に調理室の増築などの申合せ事項を協議した結果。

共同便所と水呑場の増設、調理室の増築問題はともに予算が伴うので厚生部で取り上げ両婦人会代表とともに町長に陳情するさらに結婚簡素化については至難な問題で、両親の問題ばかりでなく青年層の自主的な簡素化を図るため教養部の真剣な研究課題で徐々に実施することを決定した。

なお次期連絡協議会は五月十日午前十時から湯本町婦人会主催で開く予定。

桜まつり打合

平市恒例「桜まつり」の第一回協議会は十一日午後一時から市役所会議室に、市商工課、平商工会議所、市内商店連合会代表らが集つて開催　桜まつりの開催日時、開催期間中の諸行事等について打合せた。

傷害暴行容疑

平地区署では十日大浦村上仁井田字岸セメント土工小林貫一(三二)四倉町館下土工佐藤忠郷(三三)の両名を傷害暴行容疑で書類送検した。

両人らは去る二月二十三日午後六時ごろ小林宅で酒をのみ、四倉町方面に遊びに行く途中、磐城セメント四倉工場社宅裏で通行中の同会社員猪狩明男さん(三四)にインネンをつけたうえ、四寸角位の丸太でなぐりつけたほか同夜中に四件の傷害暴行を行つた容疑で逮捕されたもの。

六段羊羹

郷土の誇り
世界的名曲六段の作曲家八橋検校は磐城平の生れ
平駅前 平凡

六段最中

大谷石 木炭
平五 井上 電六六

急募
女店員三名入用（十八才ー三十才まで）
平市大町（電六三七） 湖畔

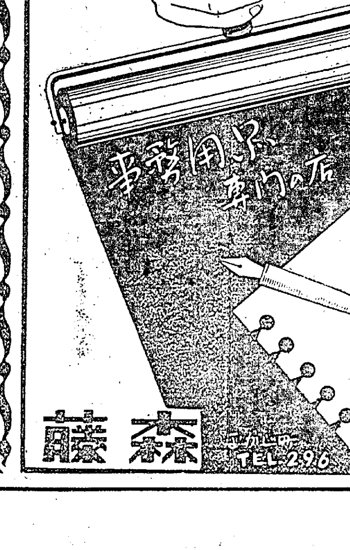
◎売家◎
店舗事務所向 土地付
急ぎ売りたし
姓名在社

今週の映画案内
★10日ヨリ16日マデ★

世界館	民劇	ひかり座	平館
妻恋黒田節 鉄腕涙あり 着色マンガ 夜の部七、一〇	雷鳴の湾 犯罪国境線 夜の部六、五五	ママの日記 今宵ひと夜を 夜の部六、二〇	求婚三人娘 第二次世界大戦 夜の部六、五五

写真に勝る肖像画 菊水画房

食肉は……
◎神戸牛肉 緑屋本店 平市一丁目電五三九
◎季節向 ハムとソーセージ 緑屋支店 平市中央通り電七九四



喫茶と洋食
心よい味と香りの店
御商談、御会合に是非御利用の程
レストラン パール
平市田町 電1388番

正直たわし 他品に負けぬ
使い良い
高砂ほーき

求宅地建物
福島県知事許可登録済
平宅地建物取引所
多数申込有 至急買度
不動産売買・仲介・鑑定
平市才槌小路踏切際色川材木店内電三六一番

神戸牛
特撰 伊勢特抜牛
御用命は……
マル井